

3年間で振り返って

「人と違うことがしたい」

ただそれだけの思いで入学することを決めた服飾デザイン科でこんなにも辛くて華やかで成長できる3年間を送れるとは思っていませんでした。縫製やファッションに対して何の技術も知識もなかった私がたった3年間で服に対して興味や関心を抱くようになり洋裁技術検定1級を取得し自信を持って充実した高校生活を送れたと言えるまでになったのには生活面だけでなく金銭的にも支えてくれた両親の存在や影で応援しながらショーを楽しみにしてくれた普通科の生徒や地元の友達自分達だけでは未熟すぎる知識の浅さを今までの経験や技術で補い助けてくれた先生3年間で多くの人達が自分と関わってくれてくれたからだと思います。

出される課題の量に苦しみ迫る提出期限に焦りながらも何とか必死にこなし3年間1度も期限を過ぎることはありませんでした。決められた締め切りを守ることでつくられる信頼関係や当たり前のことを当たり前になす難しさ完成させる早さだけが求められるのではなく丁寧に綺麗な作品を仕上げること今後それぞれが社会に出た時に必要になることを学びました。

自分の思い描く理想の形に仕上げる事が出来ず納得のいかない作品になってしまうのは自分の実力がないからであってもっと満足いく仕上がりになる事が出来る作品もあったと思うと悔しいです。自分より丁寧に発想力が豊かで個性的なクラスメイトがいたからこそ常に向上心を持ちファッションショーという目標に向けて頑張ることが出来ました。

卒業後は進学し被服とは離れてしまいましたが服飾デザイン科として学んだ知識や身についた技術が無駄になることはありません。この学校を選び服飾デザイン科に入学することが出来てよかったです。